

年 組 名前：



成人年齢の引き下げをテーマに意見交換する生徒と保護者。山梨高

**山梨高生徒**  
**18歳成人互いの考え共有**

7日に行われ、生徒会役員 7人とPTA役員ら保護者7人が参加。県民生活センターの消費生活相談員が講師を務め、「18歳成人」で保護者7人が参加。県民生活センターの消費生活相談員が講師を務めるようになったことなどを講

話した。その後の座談会でクレジットカートの作成やマルチ商法への対応について3グループに分かれ、意見を交わした。クレジットカードについて、生徒からは「自分でお金を稼ぐようになってから成人年齢の引き下げをテーマに意見交換する生徒と保護者」山梨高

「作りたい」といった意見が多く、保護者も「大人でも使う方を間違えてしまう場合がある。また早いと思う」と賛同。マルチ商法については、生徒から「誰を信用していいのか分からない」といった意見があり、保護者らは「成人したからといって何でも1人で決めなくていい。親を頼ってほしい」と助言した。

参加した3年の小池春菜さんは「子どもと親の考えを知るいい機会になった。人生経験が豊富な親のアドバイスをしっかりと受け止めたいと思った」と話した。

座談会は、今年4月から成人年齢が引き下げられたことを受け、生徒と保護者が互いに考えていることを共有しようと初めて開催。センターによると、生徒と保護者による座談会形式は珍しいという。

# カード契約 大人と語る

山梨高PTA（毎日哲也会長）は、成人年齢が18歳に引き下げられたことについて生徒と保護者が意見を交わす座談会を開いた。18歳で保護者の同意がなくてもクレジットカード作成や契約ができるようになったことを踏まえ、マルチ商法への対応などについて互いに考え方を紹介。保護者は「何でも1人で決めなくていい」と助言し、生徒たちは「人生経験豊富な親のアドバイスを受け止めたい」と話した。

〈松本飛勇馬〉

(2022年7月13日付 山梨日日新聞18面)

問1 高校生と保護者が意見を交わす座談会は、なぜ、開かれたのでしょうか。

.....

問2 座談会で保護者は、どのような助言をしましたか。

.....

問3 小池さんは、参加した感想をどのように話しましたか。

.....

問4 成人年齢が18歳に引き下げられたことについて、あなたは、どのように考えますか。

.....